

第22回宇部・小野田圏域緩和ケア 事例検討会

切れ目のない緩和ケアを実施するために、地域の医療従事者が集い、
多職種による事例検討を行います。

今回は、統合失調症があり疾患の理解が乏しい咽頭がんの患者さんが、家族の支えと多職種協働により治療を完遂し自宅退院できた事例を振り返ります。地域で暮らす統合失調症患者ががんを発症した場合、幻覚や妄想などの精神症状とがんに伴う痛みなどの身体症状・不安などの苦痛が複雑化し問題の見極めが難しく、患者の意向を尊重した治療選択や在宅療養の困難さが指摘されています。精神症状により意思決定が困難であっても、治療を継続し患者・家族の希望する在宅療養へ円滑に連携できるようにするためには、私たちはどのように取り組んだらよいかについて考えていきたいと思えます。

訪問看護ステーション「私の家」の吉弘先生にもお越しいただいて、地域で暮らす精神疾患患者への在宅緩和ケアについてご紹介をお願いしております。

皆様のご参加をお待ちしております。

日時：令和元年12月26日(木)17:30～18:30(17:00受付開始)

**場所：山口大学医学部附属病院 新中央診療棟1階多目的室1
(別紙会場案内図をご参照ください)**

※お車でお越しの方は病院外来の駐車場をご利用ください。
駐車券は、無料パンチをいたしますので、会場までご持参ください。

参加費：無料 対象：医療関係者

17:30～18:30 (各演者10分程度、全体討議30分)

**「大学病院から在宅療養へ多職種協働で治療を完遂できた
統合失調症を伴う咽頭がん事例」**

山口大学医学部附属病院 精神科病棟看護師 吉松 宏剛先生
訪問看護ステーション 私の家 吉弘 純先生
山口大学医学部附属病院 患者支援センター
精神科認定看護師 田中 志和先生

お問い合わせ先：山口大学医学部附属病院 緩和ケアセンター事務局
Tel：0836-85-3070 FAX：0836-85-3071
E-mail：y-kanwa@yamaguchi-u.ac.jp

共催：：山口大学医学部附属病院緩和ケアセンター(令和元年第5回緩和ケアセンターセミナー)
山口大学医学部附属病院腫瘍センター(第105回腫瘍センターセミナー)
中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム(令和元年第5回がん治療スキルアップセミナー)

